

14

-中・西部-



千々松 友之

千々松和紙工房 代表

### | 応募のきっかけは?

生まれ育った徳地に帰ることを前提に大阪で働いていましたが、収入面に不安があり躊躇していました。そのような時、家族から徳地和紙の伝統継承をミッションとした協力隊の募集があると聞き、応募することを決断しました。徳地和紙の伝統技術の習得と、新商品開発、徳地和紙のブランド化などに取り組みたいと思っていました。

### | 着任してみて、想像と違っていたことはありましたか?

地域の方と協力して新規事業の立ち上げや町おこしに携わるイメージを持っていましたが、実際は、各種イベントに参加して主催者側の手伝いをしたり、移住のPRイベントなどでワークショップをしたり、協力隊の活動報告をしたりという活動をしていましたね。週4日の勤務でしたが、休日のイベント参加などが多くて思うように和紙関

係の活動ができないこともあります。

### | 成長したな、と思う点はありますか?

色々な出会いや困難がありましたら、根気と努力で乗り越えました。メンタルが強くなりましたね。

### | 活動中のキーパーソン、恩人を挙げるなら?

徳地地域の2人の先輩隊員ですね。アドバイスをもらうことができて、助かりました。

隊員時代:  
世界スカウトジャンボリーでの体験コーナー



### | 現在、そしてこれからについて

現在は、実家の千々松和紙工房を事業承継しています。収入面では心配な点もありますが、それ以外は問題なくやっていっています。将来は徳地和紙の継承者を育成し、徳地和紙を盛り上げていきたいですね。

### | 協力隊を目指す人や後輩へのアドバイス

受入先の市町がどこか、また、実際の配属先がどこによって、条件や活動内容、待遇などに差があります。活動内容が自分の思い描いたものとなるように、市町の担当部署の方とよく話し合い、配属先との調整をすると良いと思います。

また、先輩隊員や隊員OB・OGとコンタクトをとて、情報収集すると、分からぬことも解決しやすいのではないかと思います。地域おこし協力隊の制度は、「隊員自らが自分のライフスタイルを実現するための手段の一つ」と考えて、積極的に行動してください。応援しています。

▼「徳地手しき和紙」製品



千々松 友之さん

#### | 協力隊として

| 着任地 | 山口市(徳地)  
| 活動期間 | 2015年6月～2018年5月  
| 活動内容 | 徳地和紙の技術継承

| 現在の仕事 | 千々松和紙工房 代表  
| ホームページ | <https://tokudiwashi.jimdo.com/>



楮(こうぞ)栽培

### 千々松さんのあゆみ

2014.10 ○ 協力隊への応募を検討

2015.6 ○ 協力隊着任

2015.10 ○ 消防団へ入団

2016.6 ○ 活動先変更

2016.8 ○ 起業準備開始

2018.5 ○ 協力隊卒業

2018.6 ○ 地域づくり協議会事務局員に着任  
(～2019年5月)

2018.7 ○ 起業

2018.8 ○ 新商品開発事業に着手  
(～2019年3月)